

## 授業科目

## 公衆栄養学I

担当教員名 鈴木 一恵	対象学年	2	対象学科	健栄
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	◎	○	

## 授業の概要

公衆栄養学1、2を通じて、地域や職域等の健康・栄養問題とそれを取り巻く自然、社会、経済、文化的要因に関する情報および住民ニーズを収集分析し、保健・医療・福祉・介護システムの中で、あらゆる健康・栄養状態の者に対し適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの作成・実施・評価の総合的なマネジメントに必要な理論と方法を修得する。公衆栄養学1では、日本を中心に、(1)公衆栄養学の概念と枠組みと計画・実施・評価の進め方、(2)社会における栄養問題の実態把握、(3)公衆栄養活動の基盤としての組織、制度、法規、(4)主要な栄養政策や栄養プログラムについて理解する。

## 授業の目的

授業を通して、国民、地域住民、職域などさまざまな集団を対象に、食と健康の関連を明らかにし、望ましい食生活の実現に向けた公衆栄養活動を推進するための基本的な知識と技能を習得する。

## 学習目標

1. 公衆栄養学の概念について説明する。
2. 日本の健康・栄養問題の現状と課題についてデータから読み取る。
3. 日本の栄養政策について(特に法・制度基盤、主要計画、食事摂取基準、国民健康・栄養調査など)概要を説明する。
4. 地域栄養プログラムのイメージをもつ。
5. 諸外国の健康・栄養課題と対策、政策について概要を説明する。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	公衆栄養学の概念と目的	講義	
2	日本の健康・栄養問題の現状と課題1 社会環境、健康状態、食事、食生活、食環境の変化	講義	
3	日本の健康・栄養問題の現状と課題2 国民健康栄養調査からみた健康状態、食事、食生活の現状	講義	
4	日本の栄養政策1 公衆栄養活動の歴史、管理栄養士・栄養士制度	講義	
5	日本の栄養政策2 公衆栄養関連法規(地域保健法、健康増進法、食育基本法等)	講義	
6	日本の栄養政策3 健康増進基本計画	講義	
7	日本の栄養政策4 国民健康・栄養調査	講義	
8	日本の栄養政策5 指針、ツール(食生活指針、食事バランスガイド)	講義	
9	日本の栄養政策6 食事摂取基準(基本)	講義・演習	
10	日本の栄養政策7 食事摂取基準(集団への活用)	講義・演習	
11	自治体の公衆栄養活動: 県・保健所、市町村	講義	
12	地域での公衆栄養活動: 産業保健、食環境	講義	
13	諸外国の栄養課題と対策1 先進国	講義	
14	諸外国の栄養課題と対策2 開発途上国	講義	
15	わが国の食品表示制度と食環境	講義	

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	健康・栄養科学シリーズ 公衆栄養学	古野 純典、伊達ちぐさ、吉池 信男 他	南江堂	2015年	3,000円+税	
	国民健康・栄養の現状 最新版	健康・栄養情報研究会	第一出版	2015年	3,700円+税	最新版

	日本人の食事摂取基準2015年版	厚生労働省 策定	第一出版	2014年	2,700円+税	
参考書						
その他の資料						

#### 評価方法

筆記試験、積極的参加の程度

#### 履修上の留意点

#### オフィスアワー・連絡先

研究室 連絡先 025-257-4421 (内線5204)